

- 1 議案名 徳島県高等学校定時制課程及び通信制課程修学奨励金貸与条例施行規則及び徳島県奨学金貸与条例施行規則の一部を改正する規則について

- 2 提案理由 業務の効率化に資するため、規則の申請書、届出書等における押印を不要とする必要がある。

徳島県高等学校定時制課程及び通信制課程修学奨励金貸与条例施行規則及び 徳島県奨学金貸与条例施行規則の一部改正について

人事課行政改革室
(教育委員会グローバル・文化教育課)

1 改正の理由

本県では、全庁を挙げ、県民・事業者の利便性の向上及び業務の効率化につながる行政手続のオンライン化の実現を図るため、その手法の一つとして、県民・事業者や職員に対して押印等を求めている手続について見直しを進めているところである。このことに伴い、業務の効率化に資するため、教育委員会所管の県規則で定める申請書、届出書等における押印を不要とする必要がある。

なお、この改正案については、人事課行政改革室が行う、教育委員会をはじめとする全ての部局がそれぞれ所管する県規則の一括改正の中で改正される内容となる。

2 改正の概要

(1) 徳島県高等学校定時制課程及び通信制課程修学奨励金貸与条例施行規則の一部改正

修学奨励金の貸与等の申請書や受領書における押印を不要とすることとする。

(2) 徳島県奨学金貸与条例施行規則の一部改正

奨学金の貸与等の申請書や各種届出書における押印を不要とすることとする。

なお、(1)及び(2)において、印鑑登録証明書を添付した上で実印を求めているものや債権管理のために必要となるものといった、押印を実質的に求める必要があるものに係る様式については、引き続き押印を求めることとする。

3 施行期日等

公布の日

なお、経過措置として、当分の間、改正前の様式についても所要の調整をして使用することができることとする。

条 例 等 立 案 表

<p>題 名 徳島県高等学校校定時制課程及び通信制課程修学奨励金貸与条例施行規則及び徳島県奨学金貸与条例施行規則の一部を改正する規則</p>	<p>課(室)名 人事課行政改革室</p>
	<p>担当者名 川 端 一 輝</p>
	<p>電話番号 二 三 七 〇</p>
<p>制定理由 業務の効率化に資するため、規則の申請書、届出書等における押印を不要とする必要がある。</p>	
<p>あらまし 一 次に掲げる規則の申請書、届出書等における押印を不要とすることとした。 1 徳島県高等学校校定時制課程及び通信制課程修学奨励金貸与条例施行規則 2 徳島県奨学金貸与条例施行規則 二 この規則は、公布の日から施行することとした。</p>	
<p>予算上の措置</p>	<p>考 備</p>
<p>関係法規</p>	
<p>法規審議委員会 要・<input checked="" type="checkbox"/></p>	

徳島県規則第 号

徳島県高等学校校定時制課程及び通信制課程修学奨励金貸与条例施行規則及び徳島県奨学金貸与条例施行規則の一部を改正する規則を次のように定める。

令和三年 月 日

徳島県知事 飯 泉 嘉 門

徳島県高等学校校定時制課程及び通信制課程修学奨励金貸与条例施行規則及び徳島県奨学金貸与条例施行規則の一部を改正する規則

(徳島県高等学校校定時制課程及び通信制課程修学奨励金貸与条例施行規則の一部改正)

第一条 徳島県高等学校校定時制課程及び通信制課程修学奨励金貸与条例施行規則(昭和四十九年徳島県規則第七十四号)の一部を次のように改正する。

様式第一号の(表)中「申請者氏名」(㊸)を「申請者氏名」に改め、注を次のように改める。

- 注 1 「申請者氏名」については、申請者本人が自署すること。
- 2 「保証人氏名」については、保証人が自署押印すること。なお、押印には実印を使用し、印鑑登録証明書を添付すること。
- 3 保証人の住民票及び所得証明書を添付すること。

様式第四号中「㊸」を削り、同様式に注として次のように加える。

注 「氏名」については、修学奨励金の貸与を受けた者本人が自署すること。

様式第五号及び様式第六号中「㊸」を削る。

様式第七号に注として次のように加える。

- 注 1 「本人氏名」については、修学奨励金の貸与を受けた者本人が自署押印すること。
- 2 「保証人氏名」については、保証人が自署押印すること。なお、押印には実印を使用し、印鑑登録証明書を添付すること。

様式第八号に注として次のように加える。

- 注 1 「申請者氏名」については、申請者本人が自署押印すること。
- 2 「保証人氏名」については、保証人が自署押印すること。なお、押印には実印を使用し、印鑑登録証明書を添付すること。

(徳島県奨学金貸与条例施行規則の一部改正)

第二条 徳島県奨学金貸与条例施行規則(平成十四年徳島県規則第二十六号)の一部を次のように改正する。

様式第一号その一の(表)中「㊸」を削り、同(表)の注2中「自署押印する」を「自署する」に改める。

様式第一号その二の(表)中「㊸」を削り、同(表)の注2中「自署押印する」を「自署する」に改める。

様式第四号中「㊸」を削り、同様式の注1中「自署押印する」を「自署する」に改める。

様式第四号の二から様式第八号までの規定、様式第九号の二、様式第十号、様式第十一号、様式第十二号及び様式第十三号の二から様式第十五号までの規定中「㊸」を削る。

附 則

- 1 この規則は、公布の日から施行する。
- 2 この規則による改正後のそれぞれの規則の様式に相当するこの規則による改正前のそれぞれの規則に定める様式による用紙は、当分の間、所要の調整をして使用することができるものとする。

様式第1号(第2条関係)

徳島県高等学校定時制課程及び通信制課程修学奨励金貸与申請書

住所		電話	
氏名、性別及び生年月日	(男・女) 年 月 日		
高等学校	名称及び学科 所在地	高等学校	課程
入学年月日	年 月 日	学年又は学年次	学年 年次
勤務先 (勤労者に従事している者にあつては、その名)	年 取	給与 その他	円 円
住所	電話		
氏名、性別及び生年月日	(男・女) 年 月 日	本人との関係	
住所	電話		
氏名、性別及び生年月日	(男・女) 年 月 日	本人との関係	
住所	電話		
修学奨励金貸与月額	円	貸与希望期間	年 月 ~ 年 月
現に支給を受けている奨励金の額	円	月	円(給付額・貸与額)
現に支給を受けていない奨励金の額	円	月	円(給付額・貸与額)
授業料の減免の有無	有 無		

徳島県高等学校定時制課程及び通信制課程修学奨励金貸与条例第2条の規定により、修学奨励金の貸与を受けたいから、関係書類を添えて申請します。
なお、貸与を受けることとなつた上は、学業に精励し、修学生としての本分を尽くすことを誓います。

徳島県知事 申請者氏名 _____
 上記の者が貸与を受け修学奨励金について、本人と連帯して債務を負担します。

年 月 日 申請者氏名 _____
 年 月 日 申請者氏名 _____
 年 月 日 申請者氏名 _____

徳島県知事 殿

- 注1. 申請者氏名については、申請者本人が自署すること。
 2. 「保証人氏名」については、保証人が自署押印すること。なお、押印には捺印を要し、印鑑登録証明書を添付すること。
 3. 保証人の住居及び所帯証明書を添付すること。

(裏) (略)

様式第1号(第2条関係)

徳島県高等学校定時制課程及び通信制課程修学奨励金貸与申請書

住所		電話	
氏名、性別及び生年月日	(男・女) 年 月 日		
高等学校	名称及び学科 所在地	高等学校	課程
入学年月日	年 月 日	学年又は学年次	学年 年次
勤務先 (勤労者に従事している者にあつては、その名)	年 取	給与 その他	円 円
住所	電話		
氏名、性別及び生年月日	(男・女) 年 月 日	本人との関係	
住所	電話		
氏名、性別及び生年月日	(男・女) 年 月 日	本人との関係	
住所	電話		
修学奨励金貸与月額	円	貸与希望期間	年 月 ~ 年 月
現に支給を受けている奨励金の額	円	月	円(給付額・貸与額)
現に支給を受けていない奨励金の額	円	月	円(給付額・貸与額)
授業料の減免の有無	有 無		

徳島県高等学校定時制課程及び通信制課程修学奨励金貸与条例第2条の規定により、修学奨励金の貸与を受けたいから、関係書類を添えて申請します。
なお、貸与を受けることとなつた上は、学業に精励し、修学生としての本分を尽くすことを誓います。

徳島県知事 申請者氏名 _____
 上記の者が貸与を受け修学奨励金について、本人と連帯して債務を負担します。

年 月 日 申請者氏名 _____
 年 月 日 申請者氏名 _____
 年 月 日 申請者氏名 _____

徳島県知事 殿

注 保証人の住居、印鑑証明書及び経歴証明書は添付すること。

(裏) (略)

(改正案)

様式第4号 (第5条関係)

受領書

一金 円也

ただし、 年 月分修学奨励金として上記金額を受領しました。

令和 年 月 日

住所
氏名

徳島県知事 飯泉 嘉門 殿

注 「氏名」については、修学奨励金の貸与を受けた者本人が自署すること。

(現行)

様式第4号 (第5条関係)

受領書

一金 円也

ただし、 年 月分修学奨励金として上記金額を受領しました。

令和 年 月 日

住所
氏名

徳島県知事 飯泉 嘉門 殿

(新設)

(改正案)

様式第5号 (第6条関係)

徳島県高等学校定時制課程及び通信制課程
修学奨励金 返還免除申請書

住所
氏名

年 月 日生

徳島県高等学校定時制課程及び通信制課程修学奨励金貸与条例第7条(第9条)の規定により、修学奨励金の返還の債務の免除を受けたいから、関係書類を添えて申請します。

- 1 貸与を受けた総額
- 2 免除を受けようとする額
- 3 免除を受けようとする事由

円
円

令和 年 月 日

申請者 住所
氏名

徳島県知事 飯泉 嘉門 殿

注 免除を受けようとする事由を証するに足りる書類を添付すること。

(現行)

様式第5号 (第6条関係)

徳島県高等学校定時制課程及び通信制課程
修学奨励金 返還免除申請書

住所
氏名

年 月 日生

徳島県高等学校定時制課程及び通信制課程修学奨励金貸与条例第7条(第9条)の規定により、修学奨励金の返還の債務の免除を受けたいから、関係書類を添えて申請します。

- 1 貸与を受けた総額
- 2 免除を受けようとする額
- 3 免除を受けようとする事由

円
円

令和 年 月 日

申請者 住所
氏名

徳島県知事 飯泉 嘉門 殿

注 免除を受けようとする事由を証するに足りる書類を添付すること。

1 徳島県高等学校定時制課程及び通信制課程修学奨励金貸与条例施行規則(昭和49年徳島県規則第74号)

(改正案)

様式第6号 (第6条関係)

徳島県高等学校定時制課程及び通信制課程
修学奨励金 返還猶予申請書

住所
氏名

年 月 日 生

徳島県高等学校定時制課程及び通信制課程修学奨励金貸与条例第10条)の規定により、
修学奨励金の返還の債務の履行の猶予を受けたいから、関係書類を添えて申請します。

- 1 返還未済の額 円
- 2 返還すべき期間 年 月 日から 年 月 日まで
- 3 履行の猶予を受けようとする期間 年 月 日から 年 月 日まで
- 4 履行の猶予を受けようとする事由

平成 年 月 日

申請者 住所
氏名

徳島県知事 飯泉 嘉門 殿

注 履行の猶予を受けようとする事由を証するに足りる書類を添付すること。

(現行)

様式第6号 (第6条関係)

徳島県高等学校定時制課程及び通信制課程
修学奨励金 返還猶予申請書

住所
氏名

年 月 日 生

徳島県高等学校定時制課程及び通信制課程修学奨励金貸与条例第10条)の規定により、
修学奨励金の返還の債務の履行の猶予を受けたいから、関係書類を添えて申請します。

- 1 返還未済の額 円
- 2 返還すべき期間 年 月 日から 年 月 日まで
- 3 履行の猶予を受けようとする期間 年 月 日から 年 月 日まで
- 4 履行の猶予を受けようとする事由

平成 年 月 日

申請者 住所
氏名

徳島県知事 飯泉 嘉門 殿

注 履行の猶予を受けようとする事由を証するに足りる書類を添付すること。

(改正案)

様式第7号 (第8条関係)

本 住 所		電話 ()		号
人 氏 名	生 年 月 日	年	月	日
貸与を受けた 期	返 還 総 額	年	月	円
返 還 期 間	年	月	から	年
返 還 方 法	月 賦	円	半 年 賦	円 (月)
保 証 人	住 所	電話 ()		
	氏 名	本人との関係		
	住 所	電話 ()		
	氏 名	本人との関係		

徳島県高等学校定時制課程及び通信制課程修学奨励金貸与条例第8条の規定により、上記のとおり返還することを確約します。

年 月 日

本人氏名 ㊟
保証人氏名 ㊟
保証人氏名 ㊟

徳島県知事 殿

注1 「本人氏名」については、修学奨励金の貸与を受けた者が本人が自署押印すること。
注2 「保証人氏名」については、保証人が自署押印すること。なお、押印には実印を使用し、印鑑登録証明書を添付すること。

(現行)

様式第7号 (第8条関係)

本 住 所		電話 ()		号
人 氏 名	生 年 月 日	年	月	日
貸与を受けた 期	返 還 総 額	年	月	円
返 還 期 間	年	月	から	年
返 還 方 法	月 賦	円	半 年 賦	円 (月)
保 証 人	住 所	電話 ()		
	氏 名	本人との関係		
	住 所	電話 ()		
	氏 名	本人との関係		

徳島県高等学校定時制課程及び通信制課程修学奨励金貸与条例第8条の規定により、上記のとおり返還することを確約します。

年 月 日

本人氏名 ㊟
保証人氏名 ㊟
保証人氏名 ㊟

徳島県知事 殿

(新設)
(新設)

(改正案)

様式第8号 (第8条関係)

徳島県高等学校定時制課程及び通信制課程
修学奨励金返還方法変更承認申請書

住所氏名 年 月 日生

(現行)

様式第8号 (第8条関係)

徳島県高等学校定時制課程及び通信制課程
修学奨励金返還方法変更承認申請書

住所氏名 年 月 日生

次のおり、修学奨励金の返還方法及び返還額を変更したいから、承認して下さるよう
お願いします。

1 貸与を受けた期間

2 返還総額 円

3 返還完了期日 年 月 日

4 返還方法 月賦・半年賦

5 返還変更額 円

6 変更の理由

年 月 日

徳島県知事 殿

申請者氏名
保証人氏名
保証人氏名

印
印
印

次のおり、修学奨励金の返還方法及び返還額を変更したいから、承認して下さるよう
お願いします。

1 貸与を受けた期間

2 返還総額 円

3 返還完了期日 年 月 日

4 返還方法 月賦・半年賦

5 返還変更額 円

6 変更の理由

年 月 日

徳島県知事 殿

申請者氏名
保証人氏名
保証人氏名

印
印
印

注1 「申請者氏名」については、申請者本人が自署押印すること。
注2 「保証人氏名」については、保証人が自署押印すること。なお、押印には実印を使用し、印鑑登録証明書を添付すること。

(表)

奨学金貸与申請書												年	月	日
徳島県知事 殿												徳島県奨学金貸与条例の規定による奨学金の貸与を受けたいので、徳島県奨学金貸与条例施行規則第3条第1項の規定により、次のとおり関係書類を添えて申請します。		
ふりがな	生年	年月日	年月日	性別	男・女									
申請者氏名	〒	電話	自宅	携帯										
申請者住所	〒	電話	自宅	携帯										
家族の住所														
立 学校 課程 科 第 学年														
在学中の学校														
通学形態		自宅通学・自宅外通学		年		月		年		月				
入学年月	卒業予定年月	貸与希望	円	円	月	月	年	年	月	月	月			
貸与希望	額	高等専門学校4.5年												
金融機関名	本支店名													
口座番号	フリガナ													
(右詰め)	フリガナ													
奨取学用口座														
ふりがな	生年	年月日	年月日	性別	男・女									
氏名	〒	電話	自宅	携帯										
住所														
続柄	職業	年収										万円		
ふりがな	生年	年月日	年月日	性別	男・女									
氏名	〒	電話	自宅	携帯										
住所														
続柄	職業	年収										万円		

注1 この様式は、徳島県奨学生採用候補者として決定を受けた後高等学校等へ進学した者が貸与の申請を行う場合に使用すること。
 2 「申請者氏名」欄は、申請者本人が自署相印すること。
 3 「家族の住所」欄は、申請者と家族が在所を異にする場合に記入すること。
 4 「貸与希望月額」欄は、在学中の学校、通学形態又は学年の区分に応じ、貸与を希望する額を記入すること。
 5 「奨学金受取用口座」欄は、申請者本人の口座を記入すること。

(裏)

(表)

奨学金貸与申請書												年	月	日
徳島県知事 殿												徳島県奨学金貸与条例の規定による奨学金の貸与を受けたいので、徳島県奨学金貸与条例施行規則第3条第1項の規定により、次のとおり関係書類を添えて申請します。		
ふりがな	生年	年月日	年月日	性別	男・女									
申請者氏名	〒	電話	自宅	携帯										
申請者住所	〒	電話	自宅	携帯										
家族の住所														
立 学校 課程 科 第 学年														
在学中の学校														
通学形態		自宅通学・自宅外通学		年		月		年		月				
入学年月	卒業予定年月	貸与希望	円	円	月	月	年	年	月	月	月			
貸与希望	額	高等専門学校4.5年												
金融機関名	本支店名													
口座番号	フリガナ													
(右詰め)	フリガナ													
奨取学用口座														
ふりがな	生年	年月日	年月日	性別	男・女									
氏名	〒	電話	自宅	携帯										
住所														
続柄	職業	年収										万円		
ふりがな	生年	年月日	年月日	性別	男・女									
氏名	〒	電話	自宅	携帯										
住所														
続柄	職業	年収										万円		

注1 この様式は、徳島県奨学生採用候補者として決定を受けた後高等学校等へ進学した者が貸与の申請を行う場合に使用すること。
 2 「申請者氏名」欄は、申請者本人が自署相印すること。
 3 「家族の住所」欄は、申請者と家族が在所を異にする場合に記入すること。
 4 「貸与希望月額」欄は、在学中の学校、通学形態又は学年の区分に応じ、貸与を希望する額を記入すること。
 5 「奨学金受取用口座」欄は、申請者本人の口座を記入すること。

(裏)

奨学生採用辞退届		年 月 日
徳島県知事 殿	住所 届出者 氏名	
	自宅 電話 携帯	
徳島県奨学生採用候補者として決定されましたが、奨学金の貸与を受けたいことを辞退しますので、徳島県奨学金貸与条例施行規則第3条の2第4項の規定により、次のとおり届け出ます。		
決定されたとき の 学 校	立 学 校	
在学中の学校	立 学 校	
辞 退 の 理 由		
備 考		

注1 「在学中の学校」欄は、徳島県奨学生採用候補者として決定されたときの学校と異なる場合に記入すること。
 2 徳島県奨学生採用候補者として決定された後に氏名の変更があった場合は、「備考」欄に変更前の氏名を記入すること。

奨学生採用辞退届		年 月 日
徳島県知事 殿	住所 届出者 氏名	
	自宅 電話 携帯	
徳島県奨学生採用候補者として決定されましたが、奨学金の貸与を受けたいことを辞退しますので、徳島県奨学金貸与条例施行規則第3条の2第4項の規定により、次のとおり届け出ます。		
決定されたとき の 学 校	立 学 校	
在学中の学校	立 学 校	
辞 退 の 理 由		
備 考		

注1 「在学中の学校」欄は、徳島県奨学生採用候補者として決定されたときの学校と異なる場合に記入すること。
 2 徳島県奨学生採用候補者として決定された後に氏名の変更があった場合は、「備考」欄に変更前の氏名を記入すること。

徳島県知事 殿		年 月 日	
奨学金継続届			
住所 届出者 氏名	住所 氏名	住所 氏名	住所 氏名
奨学生番号	奨学生番号	奨学生番号	奨学生番号
自宅 電話	自宅 電話	自宅 電話	自宅 電話
携帯	携帯	携帯	携帯
引き続き徳島県奨学金貸与条例の規定による奨学金の貸与を受けたいので、徳島県奨学金貸与条例施行規則第6条の規定により、次のとおり届け出ます。 なお、同条例第2条第2号から第4号までに掲げる要件のいずれも欠いておりません。			
立 学 校	科 第 学 年		
通 学 形 態	自 宅 外 通 学		
入 学 年 月	年 月	卒 業 予 定 年 月	年 月
〒	〒	電 話	自 宅 携 帯 :
家 族 の 住 所	円		
貸 与 月 額	円		
備 考			

注 1 「家族の住所」欄は、奨学生と家族が住所を異にする場合に記入すること。
 2 進級できなかった場合は、「備考」欄にその旨を記入すること。
 3 在学中の学校の在学証明書添付すること。

徳島県知事 殿		年 月 日	
奨学金継続届			
住所 届出者 氏名	住所 氏名	住所 氏名	住所 氏名
奨学生番号	奨学生番号	奨学生番号	奨学生番号
自宅 電話	自宅 電話	自宅 電話	自宅 電話
携帯	携帯	携帯	携帯
引き続き徳島県奨学金貸与条例の規定による奨学金の貸与を受けたいので、徳島県奨学金貸与条例施行規則第6条の規定により、次のとおり届け出ます。 なお、同条例第2条第2号から第4号までに掲げる要件のいずれも欠いておりません。			
立 学 校	科 第 学 年		
通 学 形 態	自 宅 外 通 学		
入 学 年 月	年 月	卒 業 予 定 年 月	年 月
〒	〒	電 話	自 宅 携 帯 :
家 族 の 住 所	円		
貸 与 月 額	円		
備 考			

注 1 「家族の住所」欄は、奨学生と家族が住所を異にする場合に記入すること。
 2 進級できなかった場合は、「備考」欄にその旨を記入すること。
 3 在学中の学校の在学証明書添付すること。

(改正案)

様式第6号 (第7条, 第11条関係)

徳島県知事 殿		氏名等変更届		年	月	日
徳島県知事 殿		氏名等変更届		年	月	日
届出者		住所		氏名		
氏名		氏名		氏名		
住所		住所		住所		
電話		電話		電話		
携帯		携帯		携帯		
変更年月日		変更年月日		変更年月日		
氏名		氏名		氏名		
住所		住所		住所		
電話		電話		電話		
携帯		携帯		携帯		
変更年月日		変更年月日		変更年月日		
氏名		氏名		氏名		
住所		住所		住所		
電話		電話		電話		
携帯		携帯		携帯		
変更年月日		変更年月日		変更年月日		
備考		備考		備考		

注1 変更があった項目について記入すること
 注2 氏名の変更に伴い、奨学金受取用口座に変更があった場合は奨学金受取方法変更届 (様式第9号の2) を、奨学金返還用口座に変更があった場合は奨学金返還方法変更届 (様式第13号の2) を併せて提出すること。
 注3 住所の変更に伴う通学形態の区分の変更があり、貸与月額の変更を申請する場合は、奨学金月額変更申請書 (様式第10号の2) を併せて提出すること。

(現行)

様式第6号 (第7条, 第11条関係)

徳島県知事 殿		氏名等変更届		年	月	日
徳島県知事 殿		氏名等変更届		年	月	日
届出者		住所		氏名		
氏名		氏名		氏名		
住所		住所		住所		
電話		電話		電話		
携帯		携帯		携帯		
変更年月日		変更年月日		変更年月日		
氏名		氏名		氏名		
住所		住所		住所		
電話		電話		電話		
携帯		携帯		携帯		
変更年月日		変更年月日		変更年月日		
氏名		氏名		氏名		
住所		住所		住所		
電話		電話		電話		
携帯		携帯		携帯		
変更年月日		変更年月日		変更年月日		
備考		備考		備考		

注1 変更があった項目について記入すること
 注2 氏名の変更に伴い、奨学金受取用口座に変更があった場合は奨学金受取方法変更届 (様式第9号の2) を、奨学金返還用口座に変更があった場合は奨学金返還方法変更届 (様式第13号の2) を併せて提出すること。
 注3 住所の変更に伴う通学形態の区分の変更があり、貸与月額の変更を申請する場合は、奨学金月額変更申請書 (様式第10号の2) を併せて提出すること。

休学 (停学・退学) 届		年	月	日
徳島県知事 殿	住所 届出者 氏名			
	奨学生番号			
	自宅 電話			
	携帯			
休学しました (停学の処分を受けました・退学しました) ので、徳島県奨学金貸与条例施行規則第7条第1項第2号の規定により、次のとおり関係書類を添えて届けて出ます。				
在学中の又は 在学していた 学校	立	学校	課程	科 類
届出の内容	イ 休学 () ロ 停学 () ハ 退学 ()	年 月 日から 年 月 日から 年 月 日	年 月 年 月 年 月	日まで) 日まで) 日まで)
休学 (停学・退学) の理由				

注1 「届出の内容」欄は、イからハまでのうち該当するものを○で囲み、イ又はロにあつては休学又は停学の期間 (当該期間の末日が未定の場合は当該期間の初日のみ) を、ハにあつては退学の日付を記入すること。
2 休学若しくは停学の期間又は退学の日付が確認できる書類を添付すること。

休学 (停学・退学) 届		年	月	日
徳島県知事 殿	住所 届出者 氏名			
	奨学生番号			
	自宅 電話			
	携帯			
休学しました (停学の処分を受けました・退学しました) ので、徳島県奨学金貸与条例施行規則第7条第1項第2号の規定により、次のとおり関係書類を添えて届けて出ます。				
在学中の又は 在学していた 学校	立	学校	課程	科 類
届出の内容	イ 休学 () ロ 停学 () ハ 退学 ()	年 月 日から 年 月 日から 年 月 日	年 月 年 月 年 月	日まで) 日まで) 日まで)
休学 (停学・退学) の理由				

注1 「届出の内容」欄は、イからハまでのうち該当するものを○で囲み、イ又はロにあつては休学又は停学の期間 (当該期間の末日が未定の場合は当該期間の初日のみ) を、ハにあつては退学の日付を記入すること。
2 休学若しくは停学の期間又は退学の日付が確認できる書類を添付すること。

徳島県知事 殿		転学(転籍)届		年	月	日
届出者 住所氏名		住所氏名		一		
奨学生番号		奨学生番号				
自宅電話		自宅電話		携帯		
転学(転籍) しましたので、徳島県奨学金貸与条例施行規則第7条第1項第3号の規定により、次のとおり関係書類を添えて届け出ます。						
転学(転籍)前の学校	立	学校	課程	科	第	学年
	入学年月	年	月	年	月	日
転学(転籍)後の学校	立	学校	課程	科	第	学年
	転入年月日	年	月	年	月	日
転学(転籍)の理由	卒業予定年月					
	年 月					
奨学金	イ	継続(月額を変更しない。)				
	ロ	継続(月額を変更する。)				
	ハ	辞退				
	ニ	資格の喪失				

注1 「奨学金」欄は、イからニまでのうち該当するものを○で囲み、ロにあつては奨学金月額変更申請書(様式第10号の2)を、ハにあつては奨学金辞退届(様式第112号)を併せて提出すること。

2 転学(転籍)の日付が確認できる書類を添付すること。

徳島県知事 殿		転学(転籍)届		年	月	日
届出者 住所氏名		住所氏名		④		
奨学生番号		奨学生番号				
自宅電話		自宅電話		携帯		
転学(転籍) しましたので、徳島県奨学金貸与条例施行規則第7条第1項第3号の規定により、次のとおり関係書類を添えて届け出ます。						
転学(転籍)前の学校	立	学校	課程	科	第	学年
	入学年月	年	月	年	月	日
転学(転籍)後の学校	立	学校	課程	科	第	学年
	転入年月日	年	月	年	月	日
転学(転籍)の理由	卒業予定年月					
	年 月					
奨学金	イ	継続(月額を変更しない。)				
	ロ	継続(月額を変更する。)				
	ハ	辞退				
	ニ	資格の喪失				

注1 「奨学金」欄は、イからニまでのうち該当するものを○で囲み、ロにあつては奨学金月額変更申請書(様式第10号の2)を、ハにあつては奨学金辞退届(様式第112号)を併せて提出すること。

2 転学(転籍)の日付が確認できる書類を添付すること。

奨学金受取方法変更届		年	月	日
徳島県知事 殿	住所 氏名			
	届出者 氏名			
	奨学生番号			
	自宅 電話			
	携帯			
<p>徳島県奨学金貸与条例の規定による奨学金の受取用口座を変更したいので、徳島県奨学金貸与条例施行規則第7条第1項第5号の規定により、次のとおり届け出ます。</p>				
区 分	変更前	変更後		
金融機関名				
本支店名				
種 目	普通	普通		
口座番号(右詰め)				
フリガナ				
名 義				
変更希望年月		年	月	から

注1 奨学生本人の口座を記入すること。
 2 氏名の変更に伴い名義を変更する場合は、氏名等変更届(様式第6号)を併せて提出すること。

奨学金受取方法変更届		年	月	日
徳島県知事 殿	住所 氏名			
	届出者 氏名			
	奨学生番号			
	自宅 電話			
	携帯			
<p>徳島県奨学金貸与条例の規定による奨学金の受取用口座を変更したいので、徳島県奨学金貸与条例施行規則第7条第1項第5号の規定により、次のとおり届け出ます。</p>				
区 分	変更前	変更後		
金融機関名				
本支店名				
種 目	普通	普通		
口座番号(右詰め)				
フリガナ				
名 義				
変更希望年月		年	月	から

注1 奨学生本人の口座を記入すること。
 2 氏名の変更に伴い名義を変更する場合は、氏名等変更届(様式第6号)を併せて提出すること。

(改正案)

様式第10号 (第7条, 第11条関係)

徳島県知事 殿		奨学生等死亡届		年	月	日
届出者 住所 氏名		自宅		—		
電話 携帯						
奨学生 (奨学金の貸与を受けた者) が死亡しましたので、徳島県奨学金貸与条例施行規則第7条第4項 (第11条第3項) の規定により、次のとおり関係書類を添えて届け出ます。						
死亡した者の氏名	奨学生番号 ()					
貸与を受けたときの学校	立	学校	大学	課程	学部	科 類
死亡年月日	年	月	日			
備考						

注 死亡の事実が確認できる書類を添付すること。

(現行)

様式第10号 (第7条, 第11条関係)

徳島県知事 殿		奨学生等死亡届		年	月	日
届出者 住所 氏名		自宅		④		
電話 携帯						
奨学生 (奨学金の貸与を受けた者) が死亡しましたので、徳島県奨学金貸与条例施行規則第7条第4項 (第11条第3項) の規定により、次のとおり関係書類を添えて届け出ます。						
死亡した者の氏名	奨学生番号 ()					
貸与を受けたときの学校	立	学校	大学	課程	学部	科 類
死亡年月日	年	月	日			
備考						

注 死亡の事実が確認できる書類を添付すること。

奨学金再開申請書		年 月 日
徳島県知事 殿	住所 氏名	復学し、再び徳島県奨学金貸与条例の規定による奨学金の貸与を受けたいので、 徳島県奨学金貸与条例施行規則第8条の規定により、次のとおり関係書類を添えて 申請します。
	申請者 氏名	
	奨学生番号	
	自宅 電話 携帯	
在学中の学校	立 学校 課程	科 第 学年
復学年月日	年 月 日	
休学(停学)の期間	年 月 日から 年 月 日まで	
休学(停学)の理由		

注 復学の事実を証明することができる書類を添付すること。

奨学金再開申請書		年 月 日
徳島県知事 殿	住所 氏名	復学し、再び徳島県奨学金貸与条例の規定による奨学金の貸与を受けたいので、 徳島県奨学金貸与条例施行規則第8条の規定により、次のとおり関係書類を添えて 申請します。
	申請者 氏名	
	奨学生番号	
	自宅 電話 携帯	
在学中の学校	立 学校 課程	科 第 学年
復学年月日	年 月 日	
休学(停学)の期間	年 月 日から 年 月 日まで	
休学(停学)の理由		

注 復学の事実を証明することができる書類を添付すること。

徳島県知事 殿		奨学金辞退届		年	月	日
届出者		住所	氏名	-		
奨学生番号		自宅	電話	携帯		
徳島県奨学金貸与条例の規定による奨学金の貸与を受けることを辞退したいので、徳島県奨学金貸与条例施行規則第9条の規定により、次のとおり届け出ます。						
在学中の学校	立	学校	課程	科	第	学年
辞退希望年月	年	月	から			
貸与期間	年	月	から	年	月	まで
貸与総額	円					
辞退の理由						

注 「貸与期間」欄及び「貸与総額」欄は、辞退するまでに貸与を受けることとなる期間及び総額を記入すること。

徳島県知事 殿		奨学金辞退届		年	月	日
届出者		住所	氏名	④		
奨学生番号		自宅	電話	携帯		
徳島県奨学金貸与条例の規定による奨学金の貸与を受けることを辞退したいので、徳島県奨学金貸与条例施行規則第9条の規定により、次のとおり届け出ます。						
在学中の学校	立	学校	課程	科	第	学年
辞退希望年月	年	月	から			
貸与期間	年	月	から	年	月	まで
貸与総額	円					
辞退の理由						

注 「貸与期間」欄及び「貸与総額」欄は、辞退するまでに貸与を受けることとなる期間及び総額を記入すること。

徳島県知事 殿		奨学金返還方法変更届		年 月 日	
住所	氏名	住所	氏名	住所	氏名
届出者	氏名	届出者	氏名	届出者	氏名
奨学生番号		奨学生番号		奨学生番号	
自宅		自宅		自宅	
電話		電話		電話	
徳島県奨学金貸与条例の規定による奨学金の返還の方法を変更したいので、徳島県奨学金貸与条例施行規則第11条第1項第3号の規定により、次のとおり届け出ます。		徳島県奨学金貸与条例の規定による奨学金の返還の方法を変更したいので、徳島県奨学金貸与条例施行規則第11条第1項第3号の規定により、次のとおり届け出ます。		徳島県奨学金貸与条例の規定による奨学金の返還の方法を変更したいので、徳島県奨学金貸与条例施行規則第11条第1項第3号の規定により、次のとおり届け出ます。	
区	分	変更前	変更後	区	分
返還方法		【納入通知書】 イロハ二座振替 賦 【口座振替】 賦 月 年 月 (月) 月 (月) 月 (月)	【納入通知書】 イロハ二座振替 賦 【口座振替】 賦 月 年 月 (月) 月 (月) 月 (月)	返還方法	
金融機関名				金融機関名	
本店又は記号				本店又は記号	
種目		普通	普通	種目	
口座番号(右詰め)				口座番号(右詰め)	
フリガナ				フリガナ	
名義				名義	
返還毎期額		円 円	円 円	返還毎期額	
変更希望年月		年 月 月	年 月 月	変更希望年月	

注1 変更する項目について記入すること。
 注2 「返還方法」欄は、イからホまでのうち選択するものを○で囲むこと。なお、ロからニまでを新たに選択する場合は括弧内に返還月を記入し、ホを新たに選択する場合は返還月を記入すること。金融機関において所定の手続を行い、「返還口座」欄を記入すること。
 注3 氏名の変更に伴い名義を変更する場合は、氏名等変更届(様式第6号)を併せて提出すること。

徳島県知事 殿		奨学金返還方法変更届		年 月 日	
住所	氏名	住所	氏名	住所	氏名
届出者	氏名	届出者	氏名	届出者	氏名
奨学生番号		奨学生番号		奨学生番号	
自宅		自宅		自宅	
電話		電話		電話	
徳島県奨学金貸与条例の規定による奨学金の返還の方法を変更したいので、徳島県奨学金貸与条例施行規則第11条第1項第3号の規定により、次のとおり届け出ます。		徳島県奨学金貸与条例の規定による奨学金の返還の方法を変更したいので、徳島県奨学金貸与条例施行規則第11条第1項第3号の規定により、次のとおり届け出ます。		徳島県奨学金貸与条例の規定による奨学金の返還の方法を変更したいので、徳島県奨学金貸与条例施行規則第11条第1項第3号の規定により、次のとおり届け出ます。	
区	分	変更前	変更後	区	分
返還方法		【納入通知書】 イロハ二座振替 賦 【口座振替】 賦 月 年 月 (月) 月 (月) 月 (月)	【納入通知書】 イロハ二座振替 賦 【口座振替】 賦 月 年 月 (月) 月 (月) 月 (月)	返還方法	
金融機関名				金融機関名	
本店又は記号				本店又は記号	
種目		普通	普通	種目	
口座番号(右詰め)				口座番号(右詰め)	
フリガナ				フリガナ	
名義				名義	
返還毎期額		円 円	円 円	返還毎期額	
変更希望年月		年 月 月	年 月 月	変更希望年月	

注1 変更する項目について記入すること。
 注2 「返還方法」欄は、イからホまでのうち選択するものを○で囲むこと。なお、ロからニまでを新たに選択する場合は括弧内に返還月を記入し、ホを新たに選択する場合は返還月を記入すること。金融機関において所定の手続を行い、「返還口座」欄を記入すること。
 注3 氏名の変更に伴い名義を変更する場合は、氏名等変更届(様式第6号)を併せて提出すること。

徳島県知事 殿		奨学金返還猶予申請書		年 月 日
住所	氏名	自宅	電話	携帯
徳島県奨学金貸与条例の規定による奨学金の返還の猶予を受けたので、徳島県奨学金貸与条例施行規則第13条の規定により、次のとおり関係書類を添えて申請します。				
貸与を受けた者の氏名	奨学生番号 ()			
貸与を受けたときの学校	立	学校	課程	学部
返還総額 (A)	円			
返還済額 (B)	円			
残額 (A-B)	円			
猶予希望期間	年 月 から 年 月 まで			
猶予の理由				

注 猶予の理由を証明することができる書類を添付すること。

徳島県知事 殿		奨学金返還猶予申請書		年 月 日
住所	氏名	自宅	電話	携帯
徳島県奨学金貸与条例の規定による奨学金の返還の猶予を受けたので、徳島県奨学金貸与条例施行規則第13条の規定により、次のとおり関係書類を添えて申請します。				
貸与を受けた者の氏名	奨学生番号 ()			
貸与を受けたときの学校	立	学校	課程	学部
返還総額 (A)	円			
返還済額 (B)	円			
残額 (A-B)	円			
猶予希望期間	年 月 から 年 月 まで			
猶予の理由				

注 猶予の理由を証明することができる書類を添付すること。

奨学金返還免除申請書		年 月 日
徳島県知事 殿	住所 氏名	—
	申請者 氏名	
	自宅 電話	
	携帯 電話	
徳島県奨学金貸与条例の規定による奨学金の返還の免除を受けたいので、徳島県奨学金貸与条例施行規則第14条の規定により、次のとおり関係書類を添えて申請します。		
貸与を受けた者の氏名	奨学生番号()	
貸与を受けたときの学校	立 学校	課程 学部 科 類
返還総額 (A)	円	
返還済額 (B)	円	
残額 (A-B)	円	
免除希望額	円	
免除の理由		

注 免除の理由を証明することができる書類を添付すること。

奨学金返還免除申請書		年 月 日
徳島県知事 殿	住所 氏名	④
	申請者 氏名	
	自宅 電話	
	携帯 電話	
徳島県奨学金貸与条例の規定による奨学金の返還の免除を受けたいので、徳島県奨学金貸与条例施行規則第14条の規定により、次のとおり関係書類を添えて申請します。		
貸与を受けた者の氏名	奨学生番号()	
貸与を受けたときの学校	立 学校	課程 学部 科 類
返還総額 (A)	円	
返還済額 (B)	円	
残額 (A-B)	円	
免除希望額	円	
免除の理由		

注 免除の理由を証明することができる書類を添付すること。